

安保法案 廃案に!!!

あきらめない!

7月16日、「安保関連法案」が、衆議院で自民・公明により強行採決され、参議院に送られた。

憲法は権力者の暴走に歯止めをかけるもの。その権力者が憲法違反の法案をつくり、強行採決したことは、民主主義への侮辱であり、国民への侮辱であり、そして、立憲主義の破壊にほかならない。

若者たちが国会周辺デモで「国民なめるな」「勝手に決めるな」と叫んでいる。憲法で規定している国民主権を無視した安倍政権への的を得た訴えだ。

法案は憲法違反

憲法99条は、国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負うとしている。憲法の縛りを受ける立場の者が、憲法違反の法案をつくり、これまた憲法の順守義務のある国会議員が、強行採決で法案を可決！これは、もはや法治国家ではなく、法の制御が利かなくなった独裁国家だ。

危険！ 安保法案は戦争法案

自衛隊が、いつでも、どこでもアメリカ等の戦争に参加できるようになる法案。戦闘地域での後方支援（兵器や兵士、燃料等の輸送）も可能になるため、相手国から見れば敵。自衛隊は標的となり、隊員の生命が危機にさらされる。民間人がテロの標的になる可能性も高くなる。

こんな大事な法案を、1本の新法「国際平和支援法案」（自衛隊派遣恒久法）と10本の改正法案（*注：裏面参照）を一括りにして審議にかけた上、政府の国会答弁は具体性に欠け、はぐらかしや同じ答弁の繰り返し。国民の命にかかわる議論であるにもかかわらず、無責任の極みで許しがたい。



時の政府が判断します。
.....
私は総理大臣なんですから。

有権者は

選挙で白紙委任したわけではない！
安保法制廃案の声を上げよう！

生活者ネットワークの活動レポート 臨時号

発行者/西東京・生活者ネットワーク 発行責任者/渡辺嘉津子 発行日/2015年7月20日
〒202-0005 西東京市保谷町6-25-1-102 tel 042-453-4121 fax 042-410-0014
<http://nishitokyo.seikatsusha.me>